

(条例) 様式第2 (第9条関係)

# 政務活動費成果報告書

3年 11月 30日

犬山市議会

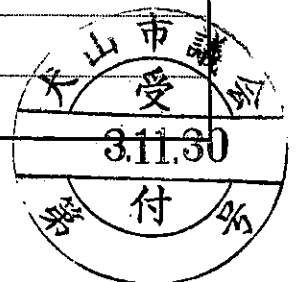
議長 三浦知里 様

議員名 岡村千里

第51回市町村議会

下記のとおり、議員研修会Zoomの成果を報告いたします。

(1) 年月日	2021年 11月 25日(木) ~ 年 月 日 ( ) ( 泊 日)
(2) 場所	自宅
(3) 形態	会派 (日本共産党 犬山市議団) : その他 ( )
(4) 内容	<p>第1講義 新型コロナウイルスとは何だったのか</p> <p>群馬沖能臨床研修センター長・医師 徳田安春先生</p> <p>コロナ対策では、ゴール設定が大切。日本のゴール設定は「ウィズコロナ」 「ゼロコロナ」はなかった。最初からPCR検査に消極的だった。こ や。GOTOトラベル解禁が「パンデミックを止めよう」にもなった。 大規模なPCR検査を行い、早期発見と保護隔離が重要である。 ワクチン開発は国家安全保障でもあるが、日本は資金と人材の不足により、 他国にかなり開発が遅い。開発能力アップが望まれる。 今後も様々な変異ウイルスの出現が考えられ、コロナウイルスの関いは 続く。自己責任ではなく、国が責任を担う形での、検査や生活保障 などが必要である。</p>
(5) 成果・提言	<p>コロナ対策の基本的な考え方は以下のとおり。県との連携を図り、 進めよう必要がある。</p> <p>① 被害実態を把握する。: 健康被害や経済的影響</p> <p>② 被害の原因と責任の所在を明らかにする。: 保健所体制、医療提 供体制など</p> <p>③ 被害者へのケア・補償と生活・経営の維持・再建</p> <p>④ 感染防止拡大防止のための規則や行政手段</p>



(条例) 様式第2 (第9条関係)

# 政務活動費成果報告書

3年 11月 30日

犬山市議会

議長

三浦知里 様

議員名 岡村千里

第51回市町村議会

下記のとおり、議員研究会Zoomの成果を報告いたします。

(1) 年月日	2021年 11月 26日(金) ~ 年 月 日( ) ( 泊 日)
(2) 場所	自宅
(3) 形態	会派 (日本共産党 犬山市議団) : その他 ( )
(4) 内容	<p>第3講義 デジタル化と自治体行政 龍谷大学教授 本多滝夫先生</p> <p>地方行政のデジタル化は、事務処理のデジタル化だけでなくデータの活用とデータ相互の連携を可能とするプラットフォームを形成することを目指す。デジタル化の拡大・深化は自治体の組織のあり方の改革にもつながる。</p> <p>1. 自治体情報システムの標準化・共通化について：自治体の主要な17業務の標準仕様をデジタル庁が策定する基本的な方針の下、関係府省において作成。この国が定める「標準仕様」に従うことが義務づけられる。自治体独自の住民サービスが確保されるが、注視していく必要がある。</p> <p>2. 行政系統のオンライン化：住民の利便性を考えれば、オンライン化自体は否定していくものではない。国はオンライン化に集約し、窓口を無人化・廃止に向けて取り組むべきことに注意を強くしてはならない。</p>
(5) 成果・提言	<p>1. 地方行政のデジタル化は、自治体の組織と業務のあり方を改めて検討する可能性がある。国からの情報については、メリットとデメリットをよく考える必要がある。</p> <p>2. 行政系統のオンライン化が進んでも、窓口業務の縮小化はせず、多様な市民の相談や要望などに応じるべき。</p> <p>3. 「地方自治デジタル・プロセス」を提案：住民の生活保障や自治をデジタル市町村技術とネットワークを利用し、向上に努める。</p>

